

●坂田郷土誌年表

坂田および房総

年次

日

本

・東国に8人の国司を任命、戸籍の作成、田の調査を命じる。

・上総ほか5カ国の農民一〇〇戸を陸奥に移住させる
 ・上総ほか6カ国の高麗人一七九九人を武蔵国に移住させ、高麗郡をおく

・安房国を置く(平群、安房、朝夷、長狭の4郡を分割)

BC三〇〇頃
 BC一〇〇頃

五七

二二九

四二一

五三八

五九三

六〇三

六〇四

六四五(大化1)

六四六(大化2)

六五八(斉明4)

六六八(天智7)

六七二(弘文1)

七〇一(大宝1)

七一〇(和銅3)

七二五(霊龜1)

七二六(霊龜2)

七一八(養老2)

- ・朝鮮から稲作と鉄器が伝わる
- ・弥生文化が関東地方まで広がる
- ・倭奴国王、後漢に朝貢し印綬を受ける
- ・卑弥呼、魏に遣使、金印紫綬を受ける
- ・倭王讃、宋に朝貢し安東將軍倭国王の称号を受ける
- ・百済の聖明王、仏像、経典を献ずる
- ・聖徳太子、摂政となる
- ・冠位十二階を定める
- ・十七条憲法をつくる
- ・中大兄皇子、蘇我入鹿を暗殺、新政府を樹立
- ・大化改新の詔
- ・阿倍比羅夫、蝦夷、肅慎を討つ
- ・天智天皇即位、近江令成る
- ・壬申の乱、天武天皇、飛鳥浄御原に即位
- ・大宝律令を制定
- ・平城京(奈良)遷都

<ul style="list-style-type: none"> 上総など6カ国の騎兵一〇〇〇騎を発し、山海両道を開かせる 安房国を上総国に合併 安房国を再び分立 坂東8カ国に勅し、陸奥国を救援させる 上総など6カ国に命じ、船五〇隻を建造させ、陸奥国に配置させる 下総など5カ国に命じ、甲五〇〇領を出羽に送らせる 上総などに命じ、陸奥の軍所に一〇万石を漕送させる 東海、東山、坂東の諸国に命じ、歩騎兵五万二八〇〇人を陸奥多賀城に集結させる 上総など8カ国の人民九〇〇〇人を陸奥国伊治城に移す 上総など8カ国の人民九〇〇〇人を胆沢城に配置する 上総などに命じ、備一万四三〇〇石、米九六八五石を陸奥中山城に運ばせる 上総、常陸、上野を親王任国とする 平将門の乱(一〇九四) 平忠常の乱 甲斐守源頼信らに平忠常を討たせる 	<p>七二三(養老7)</p> <p>七三七(天平9)</p> <p>七四一(天平13)</p> <p>七四三(天平15)</p> <p>七五七(天平15)</p> <p>七五九(天平15)</p> <p>七五九(宝字3)</p> <p>七七六(宝龜7)</p> <p>七七七(宝龜8)</p> <p>七八一(天応1)</p> <p>七八八(延暦7)</p> <p>七九四(延暦13)</p> <p>七九六(延暦15)</p> <p>七九七(延暦16)</p> <p>八〇二(延暦21)</p> <p>八〇四(延暦23)</p> <p>八二六(天長3)</p> <p>九〇二(延喜2)</p> <p>九三五(承平5)</p> <p>一〇一六(長和5)</p> <p>一〇二八(長元1)</p> <p>一〇三〇(長元3)</p> <p>一〇五一(永承6)</p> <p>一〇八三(永保3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三世一身法を制定 国分寺建立の詔 墾田永世私財法を公布 出羽志波村の賊、反乱 平安京(京都)に遷都 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任ずる はじめて荘園整理令を出す 藤原道長、摂政となる 前九年の役(一〇六二) 後三年の役(一〇八七)
--	---	---

- ・千葉常重、千葉城を築き、上総大椎城より移る
- ・千葉介常胤、相馬郡司として国判を賜る

- ・周西次郎助忠、頼朝より領地を安堵される

- ・頼朝、上総、安房などの地頭に命じて荒地を開墾させる

- ・上総伊北荘の和田義盛率兵。義盛、義清戦死

- ・千葉秀胤、宝治合戦で三浦義村の乱に連坐、大柳館で戦死
- ・日蓮、安房清澄寺で唱題立宗

- ・相馬親胤ら千葉城を攻撃

一一二六(大治1)	保元の乱
一一四六(久安2)	平治の乱
一一五六(保元1)	平清盛、太政大臣に任ずる
一一五九(平治1)	源頼政、拳兵。源頼朝、石橋山で敗れ安房に上陸
一一六七(仁安2)	源義仲、入京
一一八〇(治承4)	義仲、敗死。頼朝、鎌倉に公文所、問注所を設置
一一八三(寿永2)	壇ノ浦で平氏滅亡。頼朝、守護、地頭をおく
一一八四(寿永3)	衣川の戦、頼朝、奥州を平定
一一八五(文治1)	頼朝、征夷大將軍に任じられる
一一八九(文治5)	北条時政、摂政となる
一一九二(建久3)	源実朝、公暁に暗殺される(源氏滅亡)
一一〇三(建仁3)	承久の変、幕府軍入京、六波羅探題をおく
一一一三(建保1)	文永の役(蒙古軍来襲)
一一一九(承久1)	弘安の役(蒙古軍来襲)
一一二一(承久3)	永仁の徳政令を発する
一一四七(宝治1)	護良親王、吉野に挙兵
一一五三(建長5)	新田義貞、鎌倉幕府を倒す(北条氏滅亡)
一一七四(文永11)	足利尊氏、征東將軍となり鎌倉に入る
一一八一(弘安4)	尊氏、幕府を開き、建武式目を制定
一一九七(永仁5)	尊氏、征夷大將軍となる
一二〇二(元弘2)	
一二〇三(元弘3)	
一二〇五(建武2)	
一二〇六	
一二〇八	

- ・保元の乱
- ・平治の乱
- ・平清盛、太政大臣に任ずる
- ・源頼政、拳兵。源頼朝、石橋山で敗れ安房に上陸
- ・源義仲、入京
- ・義仲、敗死。頼朝、鎌倉に公文所、問注所を設置
- ・壇ノ浦で平氏滅亡。頼朝、守護、地頭をおく
- ・衣川の戦、頼朝、奥州を平定
- ・頼朝、征夷大將軍に任じられる
- ・北条時政、摂政となる
- ・源実朝、公暁に暗殺される(源氏滅亡)
- ・承久の変、幕府軍入京、六波羅探題をおく
- ・文永の役(蒙古軍来襲)
- ・弘安の役(蒙古軍来襲)
- ・永仁の徳政令を発する
- ・護良親王、吉野に挙兵
- ・新田義貞、鎌倉幕府を倒す(北条氏滅亡)
- ・足利尊氏、征東將軍となり鎌倉に入る
- ・尊氏、幕府を開き、建武式目を制定
- ・尊氏、征夷大將軍となる

- 上総佐平郷の百姓ら、鶴岡八幡宮の年貢・俘役に反対し強訴する
- 武蔵、上総の守護・上杉氏憲(弾秀)、挙兵、千葉兼胤連坐
- 上総本一揆起こる
- 千葉城焼打、千葉介胤直、多占に逃れる
- 足利成氏、千葉自胤を市川城に攻める
- 里見、千葉、武田の諸将、成氏を助け古河城を奪・
- 太田資忠、千葉自胤、孝胤を■井城に攻める
- 足利義明、小弓城の原隆胤を討つ
- 里見義豊、叔父実堯を稲村城に襲う
- 里見義堯、北条氏綱の援けを受け、義豊を稲村城に討つ
- 小弓公方義明、里見義堯、真里谷信隆を討つ
- 北条氏綱、下総国府台で里見義堯、義明を討つ(第一次国府台)
- 武田、里見連合軍、上総中尾城を攻める
- 觀泉寺焼失、僧隆賢、長福寺を建立
- 里見義堯、北条氏康に攻められ、長尾景虎に援けを請う

- 一三九九
- 一三六八
- 一三九二(明德3)
- 一三九四(応永1)
- 一三九五(応永2)
- 一四一六(応永23)
- 一四一八(応永25)
- 一四三八(永享10)
- 一四四〇(永享12)
- 一四四一(嘉吉1)
- 一四四九(宝徳1)
- 一四五五(康正1)
- 一四五六(康正2)
- 一四六七(応仁1)
- 一四七二(文明4)
- 一四七九(文明11)
- 一五一七(永正14)
- 一五三三(天文2)
- 一五三四(天文3)
- 一五三七(天文6)
- 一五三八(天文7)
- 一五四三(天文12)
- 一五四四(天文13)
- 一五四九(天文18)
- 一五五六(弘治2)
- 一五六〇(永祿3)

- 足利基氏、鎌倉公方となる
- 足利義満、将軍となる
- 南北朝合体
- 義満、太政大臣になる。将軍・足利義持
- 永享の乱(鎌倉公方足利持氏の反乱)
- 結城合戦(結城氏朝、持氏の遺子を擁立、幕府に反抗)
- 嘉吉の乱(赤松満祐、将軍義教を暗殺)
- 足利義政、将軍となる
- 応仁の乱
- ポルトガル船、種子島に漂着、鉄砲伝来
- ザビエル、キリスト教を伝える
- 織田信長、桶狭間で今川義元を討つ

- ・里見義弘、北条氏康と下総国府台で戦い敗走(第二次国府台合戦)
- ・北条氏政、土気城を攻める
- ・里見義弘、上総三船台に北条軍を討つ

- ・里見義弘、下総国府台に出兵、武田信玄と盟約

- ・北条氏滅亡で千葉氏一族も滅亡
- ・家康、両総の各地に譜代の諸侯を移封
- ・家康、関東の検地を始める(坂田村石高三六三石四斗六合)

- ・房総大地震、大津波

- ・館山城主里見忠義、倉吉へ移封

- ・坂田八幡神社を奉祭
- ・安房全域の検地を行なう

一五六一(永禄4)	川中島の戦
一五六四(永禄7)	
一五六五(永禄8)	
一五六七(永禄10)	
一五六八(永禄11)	
一五六九(永禄12)	
一五八二(天正10)	
一五八五(天正13)	
一五九〇(天正18)	
一五九一(天正19)	
一五九二(文禄1)	
一五九七(慶長2)	
一六〇〇(慶長5)	
一六〇一(慶長6)	
一六〇三(慶長8)	
一六一三(慶長18)	
一六一四(慶長19)	
一六一五(元和1)	
一六一六(元和2)	
一六一八(元和4)	
一六二三(元和4)	

- ・信長、足利義昭を奉じ入京
- ・本能寺の変(信長自害)
- ・山崎合戦(豊臣秀吉、明智光秀を討つ)
- ・太閤検地始まる
- ・秀吉、関白に任ぜられる
- ・小田原征伐(後北条氏滅亡)
- ・徳川家康、関東に移封、江戸入城
- ・文禄の役(朝鮮征討)
- ・慶長の役(朝鮮再征)
- ・関ヶ原の戦
- ・家康、譜代の家臣を関東、東海の大名に封ず
- ・家康、征夷大將軍に任じられ、江戸幕府開府
- ・キリスト教禁止、宣教師、教徒を追放
- ・大阪冬の陣
- ・大阪夏の陣(秀頼、自害)
- ・武家諸法度を制定
- ・家康没
- ・家光、將軍となる

<ul style="list-style-type: none"> ・このころ、坂田八幡神社社殿完成 ・長福寺の宝篋印塔を建立 ・飯野村で百姓一揆起こる ・佐倉惣五郎、刑死 ・安房国大神宮村で百姓一揆起こる ・長福寺、六道地蔵を祀る ・地頭大草平内没 ・関東諸国大地震、安房地方、海嘯で大被害 ・滝の前六地蔵を祀る ・大牧新左衛門、大堀を掘削 ・安房北条藩内に万石騒動起こる ・坂田海岸の六地蔵を祀る ・長福寺の六地蔵を祀る ・寺家坂の六地蔵を祀る ・青木昆陽、幕張で甘藷栽培を指導 ・長福寺本堂再建 ・坂田新納戸地蔵を祀る ・夷隅郡押日など5ヵ村の百姓、門訴 	<ul style="list-style-type: none"> 一六二五(寛永2) 一六三四(寛永11) 一六三七(寛永14) 一六三八(寛永15) 一六四九(慶安2) 一六五三(承応2) 一六八二(天和2) 一六八七(貞享4) 一六九九(元禄12) 一七〇一(元禄14) 一七〇三(元禄16) 一七〇七(宝永4) 一七〇九(宝永6) 一七一(正徳1) 一七二四(正徳4) 一七一六(享保1) 一七一九(享保4) 一七二〇(享保5) 一七二九(享保14) 一七三五(享保20) 一七三八(元文3) 一七四二(寛保2) 一七五〇(寛延3) 一七五五(宝暦5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村取締令を出す ・島原の乱起こる ・農民法度(慶安御触書)、検地条目制定 ・江戸大火(八百屋お七の火事) ・生類憐みの令を出す ・赤穂浪士、吉良義央を討つ ・富士山噴火 ・幕府、新井白石を登用(正徳の治) ・諸国飢饉 ・吉宗、将軍となる(享保の改革始まる) ・関東の農村に菜種の栽培を奨励 ・関東8カ国に対し白米の江戸輸送を禁止 ・百姓の強訴を厳禁 ・幕府、農民一揆鎮圧令を出す
---	---	--

・長福寺に阿弥陀如来薬師如来像を奉納

・酒井藩(勝山)で百姓一揆起こる

・上総国埴谷郡の農民、検地に反対し強訴

・坂田新納戸地蔵を祀る

・君津郡金谷の農民太左衛門、減租を訴え獄死

・房総の要所に砲台をおく

・小林一茶、上総をめぐる

・坂田八幡神社の神輿を再造成

・近江屋甚兵衛、人見村で海苔養殖を始める

・大牧周西没

・第十一代坂井四郎兵衛、醤油醸造業を始める

・大原幽学、房総に入る

一七六一(宝暦11)

一七六七(明和4)

一七七〇(明和7)

一七七二(明和8)

一七七六(安永5)

一七七九(安永8)

一七八二(天明2)

一七八三(天明3)

一七八五(天明5)

一七八六(天明6)

一七八七(天明7)

一七九二(寛政4)

一七九三(寛政5)

一八〇〇(寛政12)

一八〇八(文化5)

一八一(文化8)

一八一七(文化14)

一八二一(文政4)

一八二四(文政7)

一八二五(文政8)

一八二六(文政9)

一八二八(文政11)

一八三二(天保3)

一八三三(天保4)

一八三七(天保)

・田沼意次、側用人となる(田沼時代始まる)

・お蔭参り、諸国に流行

・諸国大飢饉(天明大飢饉、一八七七)

・浅間山大噴火

・幕府、手賀沼干拓に着手(失敗)

・松平定信、老中となる(寛政改革始まる)

・ロシア使節ラクスマン、根室に来航

・幕府、沿岸諸藩に嚴重警備を命ずる

・伊能忠敬、蝦夷地測量に出発

・イギリス船、浦賀に来航

・異国船打払令を指令

・シーボルト事件起こる

・天保大飢饉(一三六)、各地に打毀し起こる

・大塩平八郎の乱

坂田および上総	年 次	千葉県および日本
<ul style="list-style-type: none"> 2・宮谷県設置により同県の所轄に入る 	<ul style="list-style-type: none"> 一八六八(明治1) 一八六九(明治2) 	<ul style="list-style-type: none"> 1・戊辰戦争始まる 7・江戸を東京と改める 7・柴山典、安房上総知県事に任命される 1・葛飾県設置 2・宮谷県設置 6・版籍奉還許可
<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤信淵、上総久保田で開墾を指導 ・幕府、印旛沼干拓を命ずる ・花の井の供養塔を建立 ・ペリー来航で房総諸藩騒然となる ・坂田で海苔養殖を始める ・坂田浅間神社を奉納 ・米価高騰、木更津で打毀し起こる 	<ul style="list-style-type: none"> 一八三八(天保9) 一八四一(天保12) 一八四三(天保14) 一八四四(弘化1) 一八四七(弘化4) 一八五三(嘉永6) 一八五四(安政1) 一八五七(安政4) 一八五八(安政5) 一八五九(安政6) 一八六〇(万延1) 一八六五(慶応1) 一八六七(慶応3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天保の改革始まる ・在府の農民の掃村を命ずる ・幕府、相模、安房、上総沿岸の守備を命ずる ・ペリー、浦賀に来航 ・日米和親条約調印 ・下田条約調印 ・日米修好通商条約調印・安政の大獄 ・神奈川、長崎、箱館三港を開港 ・桜田門外の変(大老井伊直弼暗殺される) ・大政奉還、王政復古の大号令

坂田および上総

年次

千葉県および日本

7・木更津県の所轄に入る

一八七〇(明治3)

9・平民の姓を許す

一八七一(明治4)

5・新貨条例公布

7・廃藩置県(木更津・新治・印旛県発足)

一八七二(明治5)

2・庄屋・名主・年寄などを廃し、戸長・副戸長などを設置

8・学制を制定し、学区制を敷く

9・田畑勝手作を許可

6・千葉県の所轄に入る

一八七三(明治6)

1・徴兵令を布告

6・木更津・印旛県を廃し千葉県をおく

7・地租改正

・貞元郵便取扱所開設

一八七四(明治7)

5・台湾出兵

一八七五(明治8)

5・新治県を廃止、香取・匝差・海上の三郡を千葉県に編入

一八七六(明治9)

2・日朝修好条規調印

5・坂田尋常小学校設置(長福寺)

一八七七(明治10)

2・西南戦争起こる

10・木更津郡の設置により同郡に所属する

一八七八(明治11)

5・大久保利通暗殺される

この年、大堀村の平野武次郎、新しい海苔養殖法を発明(明治16年
実用化)

7・郡区町村編制法公布

このころ、海苔養殖本格化	一八七九(明治12)	9・学制を廃止、教育令をおく
	一八八〇(明治13)	4・区町村会法を定める
	一八八一(明治14)	10・明治14年の政変
	一八八二(明治15)	1・軍人勅諭を下す
	一八八三(明治16)	この年、東京→成田間に乗合馬車開通
	一八八四(明治17)	3・地租条例制定
	一八八五(明治18)	11・大阪事件起こる
	一八八六(明治19)	4・小学校令・中学校令・師範学校令公布
	一八八七(明治20)	12・保安条例公布
この年、坂田青年会発足 この年、釜神郵便局設置	一八八八(明治21)	4・市制・町村制公布
4・周西村発足(坂田・大和田・人見・中野・久保・台が合併)(初代村長坂井四郎治)	一八八九(明治22)	2・大日本帝国憲法発布
	一八九〇(明治23)	7・東海道線全線開通 5・府県制・郡制公布 7・第一回衆議院総選挙実施

この年、大旱魃、いなご害甚大、坂田水利組合結成	一八九四(明治27)	7・総武鉄道市川～佐倉間開通(12月、本所～市川間開通)
1・久保南陂水車完成(13日)	一八九五(明治28)	4・日清講和条約調印(三國干渉起ころ)
7・周西尋常高等小学校発足 この年、君津郡設置	一八九六(明治29)	4・日本勸業銀行法、農工銀行法公布
この年、坂田住民八八名、区画漁業免許を申請	一八九七(明治30)	10・金本位制実施
9・坂田地先海面使用許可(26日)	一八九八(明治31)	12・地租増徴法可決
	一八九九(明治32)	6・農会法公布
	一九〇〇(明治33)	7・改正条約実施
	一九〇一(明治34)	3・治安警察法公布 4・漁業法公布
		5・大津事件起ころ
		6・鉄道敷設法公布
		9・米商会所を米穀取引所に改組

9・坂田漁業組合発足(初代組合長・栗原惣吉)	一九〇二(明治35)	
この年、周西尋常高等小学校、坂田字龍畑に移転	一九〇三(明治36)	
	一九〇四(明治37)	2・日露戦争勃発
	一九〇五(明治38)	9・ポーツマス条約調印
	一九〇六(明治39)	3・鉄道国有法公布
8・周西尋常高等小学校新校舎完成(中野)	一九〇七(明治40)	2・足尾暴動起こる 3・小学校六年制となる
3・坂田漁業組合に専用漁業免許(免許第三八〇一号)	一九〇九(明治42)	10・伊藤博文、ハルピン駅頭で暗殺される
8・大暴風雨で崖崩れなど大被害(家屋倒壊八戸、死者二人) この年、祇園神社を坂田八幡神社に合祀	一九一〇(明治43)	5・大逆事件起こる 8・日韓合併条約調印(韓国併合)
4・周西村青年団結成 この年、薬師堂、地藏堂を長福寺に合祀	一九一一(明治44)	2・日米通商航海条約改正調印
一九一二(明治45) (大正1)	一九一二(明治45) (大正1)	7・明治天皇逝去、大正と改元 12・軽便鉄道、木更津―久留里線開通
一九一三(大正2)	一九一三(大正2)	この年、憲政擁護運動高まる

坂田および周西村

年次

千葉県および日本

- 1・内房線周西駅新設
- 2・消防団発足(周西村消防組第一部)
- 8・大暴風雨、津波で大被害
- このころ、貝類の採取本格化する
- 7・漁業組合事務所、新築完成
- 9・関東大震災で各所に大被害
- 12・電灯敷設
- この年、周西村婦人会結成

- 一九一四(大正3)
- 一九一五(大正4)
- 一九一六(大正5)
- 一九一七(大正6)
- 一九一八(大正7)
- 一九一九(大正8)
- 一九二〇(大正9)
- 一九二二(大正10)
- 一九二二(大正11)
- 一九二三(大正12)

- 1・シーメンス事件起こる
- 7・第一次世界大戦勃発(8月、日本、ドイツに宣戦布告)
- 1・内房線、木更津〜上総湊間開通
- 5・房総各地で旱魃被害
- 11・ロシア革命起こる
- 8・シベリア出兵
- 8・富山県で米騒動発生、全国に波及
- 6・ベルサイユ条約調印
- 3・株価暴落、戦後恐慌始まる
- 1・千葉市制施行
- 2・ワシントン海軍軍縮条約調印
- 1・大寒波襲来、利根川河口、銚子沿岸氷結
- 9・関東大震災

<p>この年、関谷築堤改修工事に着工(昭和5年完成) この年、消防団、手引動力ポンプを購入</p>	一九二四(大正13)	1・第二次護憲運動高まる
<p>・関谷築堤改修工事竣工</p>	一九二五(大正14)	5・普通選挙法公布
<p>・海苔共同出荷所を建設、直販を開始 ・電話開設</p>	一九二六(大正15) (昭和1)	12・大正天皇逝去、昭和と改元
<p>・周西村役場、坂田七三七番地に新築移転</p>	一九二七(昭和2)	3・金融恐慌始まる
<p>・周西村婦人会、大日本国防婦人会に改組</p>	一九二八(昭和3)	2・第一回普通選挙実施 3・千葉県下、大暴風雨
	一九二九(昭和4)	4・房総循環線開通 11・金輸出解禁令公布
	一九三〇(昭和5)	4・ロンドン海軍軍縮条約調印
	一九三一(昭和6)	9・満州事変勃発 12・金輸出再禁止
	一九三二(昭和7)	3・満州国建国宣言 5・5・15事件起こる
	一九三三(昭和8)	3・日本、国際連盟を脱退
	一九三四(昭和9)	12・木更津―横須賀間の定期航路開設

<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団を警防団に改組 ・ 坂田部落会発足 	<ul style="list-style-type: none"> 一九三九(昭和14) 	<ul style="list-style-type: none"> 7・国民徴兵令公布 10・第二次世界大戦勃発
<ul style="list-style-type: none"> 4・周西国民学校発足(高等尋常小学校を改称) 	<ul style="list-style-type: none"> 一九四〇(昭和15) 	<ul style="list-style-type: none"> 9・日独伊三国同盟締結
<ul style="list-style-type: none"> 4・君津町発足(八重原村を合併、初代町長・保坂亀次郎) この年、八重原航空廠の建設始まる 	<ul style="list-style-type: none"> 一九四一(昭和16) 	<ul style="list-style-type: none"> 3・国民学校令公布 12・太平洋戦争勃発
<ul style="list-style-type: none"> 7・君津町漁業会発足(初代会長・秋元猪次郎) 	<ul style="list-style-type: none"> 一九四二(昭和17) 	<ul style="list-style-type: none"> 6・ミッドウエー海戦
	<ul style="list-style-type: none"> 一九四三(昭和18) 	<ul style="list-style-type: none"> 2・日本軍、ガダルカナル島撤退を開始 3・農業団体法、水産団体法公布
	<ul style="list-style-type: none"> 一九四四(昭和19) 	<ul style="list-style-type: none"> 8・学童疎開実施、学徒勤労令公布 11・B・29、本土爆撃を開始
	<ul style="list-style-type: none"> 一九四五(昭和20) 	<ul style="list-style-type: none"> 3・東京大空襲 7・千葉市大空襲

<ul style="list-style-type: none"> ・君津町青年団坂田青年分団発足 	<p>一九四六(昭和21)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 8・ポツダム宣言受諾、日本無条件降伏(15日) 12・GHQ、第一次農地改革を指令
<ul style="list-style-type: none"> 2・君津町農業協同組合発足 	<p>一九四七(昭和22)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2・金融緊急措置令(新円発行) 11・日本国憲法公布
<ul style="list-style-type: none"> 4・周西小学校、君津中学校開校 		<ul style="list-style-type: none"> 3・教育基本法、学校教育法公布(6・3・3制)
<ul style="list-style-type: none"> 5・部落会廃止、部落世話人制をとる 		<ul style="list-style-type: none"> 5・新憲法施行(3日)
<ul style="list-style-type: none"> 9・君津町消防団発足 		<ul style="list-style-type: none"> 12・改正民法公布(家制度廃止)
<ul style="list-style-type: none"> 3・米穀供出のマッカーサー指令出される 	<p>一九四八(昭和23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 12・GHQ、経済安定9原則を指令
<ul style="list-style-type: none"> 7・君津町漁業会解散、坂田漁業協同組合発足 	<p>一九四九(昭和24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2・新漁業法公布
<ul style="list-style-type: none"> ・坂田漁協に「海苔養殖研究部」発足 ・区長制実施(初代区長・秋元理平) 	<p>一九五〇(昭和25)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4・ドッジライン実施 8・シャープ税制改革勧告案発表 6・朝鮮戦争勃発
<ul style="list-style-type: none"> 2・千葉県地方大積雪、海苔養殖大被害 5・坂田消防団、三輪自動車ポンプ購入 	<p>一九五一(昭和26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 9・サンフランシスコ講和条約調印
<p>このころ、浮動式海苔養殖法始まる</p>	<p>一九五二(昭和27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4・講和条約発効 5・メーデー事件起こる

坂田および君津町

年次

千葉県および日本

10・坂田耕地整理組合解散	一九五三(昭和28)	10・町村合併促進法公布
3・君津町・周南町・貞元村が合併、君津町新発足 この年、海苔保管倉庫、加工場を完成、共同販売体制を確立	一九五四(昭和29)	7・防衛庁、自衛隊発足
・坂田漁協研究部、全国研究者大会で水産庁長官賞を受ける	一九五五(昭和30)	10・左右両派社会党統一、日本社会党結成 11・自由党、民主党合同、自由民主党結成
・米軍ジェット機、坂田沖に墜落	一九五六(昭和31)	12・日本、国連に加盟
3・町営水道敷設 この年、海苔の人工採苗始まる	一九五七(昭和32)	12・NHK、カラーテレビ実験放送開始 ⁵
3・君津町役場新庁舎完成 この年、坂田区消防委員会発足	一九五八(昭和33)	4・皇太子、ご結婚
1・坂田消防団、四輪ポンプ車を購入	一九五九(昭和34)	9・伊勢湾、台風で東海地方大被害
10・千葉県、坂田漁協に漁業権放棄を要請(13日)	一九六〇(昭和35)	1・日米新安全保障条約調印 4・京葉有料道路開通 12・政府、所得増進計画を決定
1・千葉県、漁業権放棄を再要請	一九六一(昭和36)	6・農業基本法公布
3・坂田漁協代表、八幡製鉄所を視察		
8・君津漁協、漁業権を放棄		

1・八幡製鉄、人見地区の埋立て開始	一九六二(昭和37)	5・新産業都市建設促進法公布
7・君津町、都市計画区域の指定を受ける		10・政府、全国総合開発計画を決定
この年、坂田漁協、坂田地先海面一万坪を自主埋立て		
・坂田青年団解散	一九六三(昭和38)	4・友納武人、千葉県知事に当選
9・君津町用途地域指定を決定		10・東海道新幹線開業
10・八幡製鉄、八重原住宅一部完成	一九六四(昭和39)	10・東京オリンピック開催
この年、海苔大不作		
1・君津町、都市計画街路を決定	一九六五(昭和40)	6・日韓基本条約調印
5・坂田漁協、漁業権放棄を決定(6日)、千葉県と協定書を締結(26日)		
6・八幡製鉄君津製鉄所披露式		
4・君津総合職業訓練所設置(44年、君津総合高等職業訓練校と改称)	一九六六(昭和41)	7・新東京国際空港、成田に決定
3・八幡製鉄、坂田地先の埋立て開始	一九六七(昭和42)	8・公害対策基本法公布
8・坂田土地区画整理組合発起人会発足		
・八幡製鉄君津製鉄所第一号高炉火入れ	一九六八(昭和43)	6・小笠原諸島、日本復帰
4・周西中学校、君津中学校より分立		12・3億円事件起こる
11・新君津駅建設促進同盟会発足		
3・坂田漁業協同組合解散記念碑除幕式(17日)	一九六九(昭和44)	5・東名高速道路、全線開通
5・周西中学校校舍完成		7・米アポロ11号、月面着陸

<p>10・坂田土地区画整理組合発足 11・君津製鉄所第一期工事完工披露式 12・大和田小学校校舎完成 12・君津台宅地造成事業認可 この年、長福寺再建</p>	<p>一九六九(昭和44)</p>	<p>3・八幡製鉄と富士製鉄合併、新日本製鉄発足 3・日本万国博覧会、開幕</p>
<p>3・君津市土地区画整理組合連合会発足 7・集中豪雨で小糸川決潰、大被害 9・君津町、上総町、清和村、小櫃町が合併、君津町新発足(28日) この年、区長制を廃止、坂田自治会発足</p>	<p>一九七〇(昭和45)</p>	<p>7・環境庁発足 8・ニクソン米大統領、ドル防衛案を発表 12・スミソニアン協定で円切り上げ</p>
<p>4・坂田小学校・君津高等学校開校 8・台風23号で各所に浸水被害(31日) 9・君津市発足</p>	<p>一九七二(昭和47)</p>	<p>2・冬季オリンピック、札幌で開催 5・沖縄、日本に復帰 9・田中首相、訪中(日中国交正常化)</p>
<p>2・坂田小学校、君津高校、校舎完成 3・坂田青年館完成 7・集中豪雨で浸水被害(7日) この年、坂田消防団、四輪ポンプ車を配車</p>	<p>一九七三(昭和48)</p>	<p>9・千葉国体(若潮国体)開催 10・第四次中東戦争勃発(オイル・ショック)</p>
<p>10・新君津駅完成 7・集中豪雨で各所に被害</p>	<p>一九七四(昭和49)</p>	<p>6・国土庁発足</p>

<p>9・千葉県より坂田の危険地帯が急傾斜地帯の指定をうける</p> <p>4・イトーヨーカ堂開店</p> <p>6・坂田自治会「自治会報」を発刊</p> <p>9・坂田青年部結成</p> <p>10・住居小変更、坂田のほか西田、東田の新町名採用</p> <p>11・七ツ堰保存について陳情</p> <p>この年、第二次急傾斜地崩壊危険区域の指定を受ける</p> <p>10・台風20号で各所に被害</p> <p>9・長福寺墓苑完成</p> <p>3・土地区画整理事業記念碑を建立</p>	<p>一九七五(昭和50)</p> <p>一九七六(昭和51)</p> <p>一九七七(昭和52)</p> <p>一九七八(昭和53)</p> <p>一九七九(昭和54)</p> <p>一九八〇(昭和55)</p> <p>一九八一(昭和56)</p>	<p>7・沖縄海洋博覧会、開幕</p> <p>2・ロッキード事件起きる</p> <p>7・日本、領海二二カイリ、漁業専管水域</p> <p>2〇〇カイリを実施</p> <p>5・成田空港開港</p> <p>8・日中平和友好条約調印</p> <p>1・イランで革命、ホメイニ体制確立</p> <p>6・東京サミット開催</p> <p>9・イラン・イラク、全面戦争に突入</p>
--	---	---